

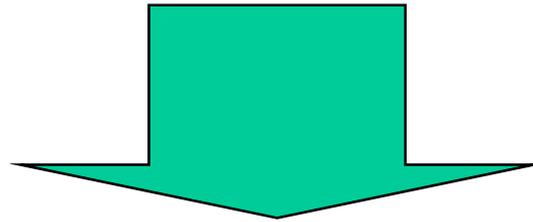
総合病院看護師の勤務条件と 職業性ストレスおよび疲労蓄積との関連 についての調査

労働者健康福祉機構

鳥取産業保健推進センター

調査の目的

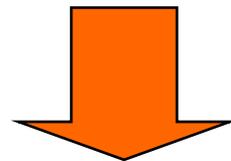
- 総合病院に勤務する看護師の勤務条件と疲労蓄積および職業性ストレスの関連性についての実態



- 病院組織で取り組むべく、看護師の労働条件の改善および健康障害の防止について、具体的対策を講じていくための基礎資料として活用

調査対象と方法

- 鳥取県内の主要総合病院から6施設を選定し、そこに勤務する看護職員1903名を調査対象とした。
- 質問調査票（自己記入による記名方式）を用いて実施（平成20年8月～9月）



回収数1613件（回収率84.8%）

調査内容

■ 調査内容:

①基本属性

(年齢、性別、職名、雇用形態、勤続年数、経過年数)

②勤務状況

③健康状況

④職業ストレス簡易調査

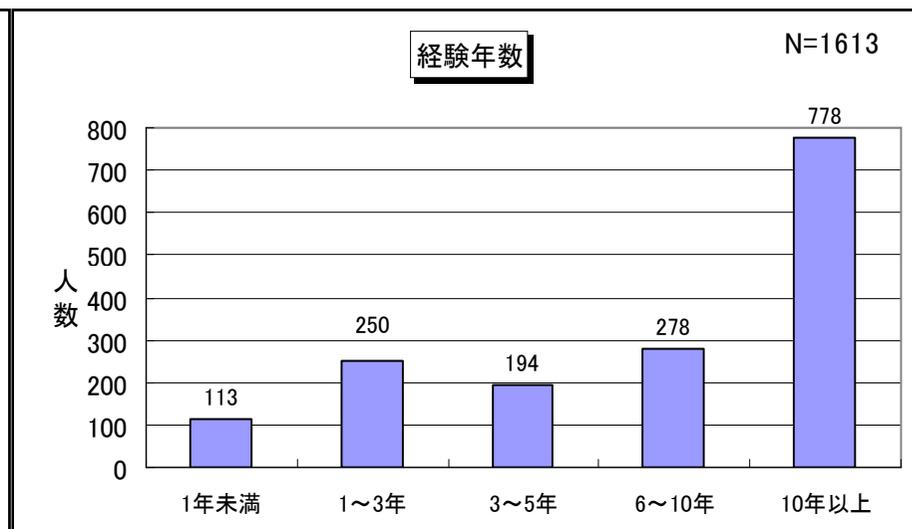
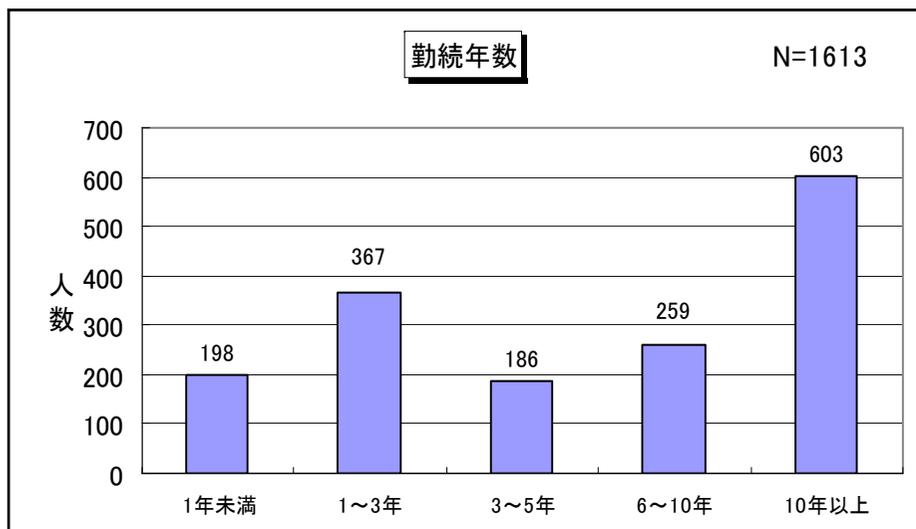
■ 個人へのフィードバック:

- 職業性ストレス調査結果については、調査終了後親展の封筒へ入れ個人情報が出漏れない方法で本人にフィードバック。
- ただし無記名の場合は、個人票は作成しないものとした。

対象者の属性

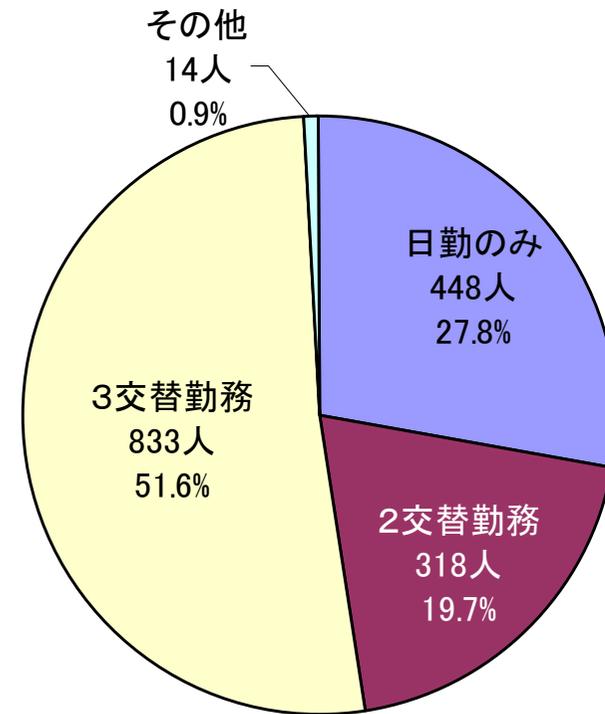
対象者の年齢構成

	～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳～	計	
男性	20	12	13	5	2	2	1	0	55	(3.4%)
女性	346	288	228	170	140	183	125	78	1558	(96.6%)
計	366	300	241	175	142	185	126	78	1613	(100%)
	(22.7%)	(18.6%)	(14.9%)	(10.8%)	(8.8%)	(11.5%)	(7.8%)	(4.8%)	(100%)	



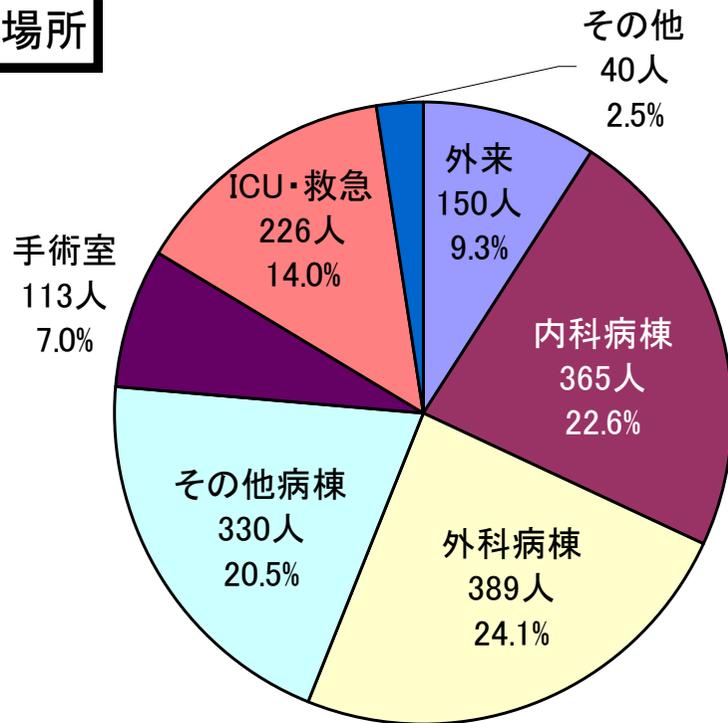
対象者の勤務状況

勤務形態



N=1613

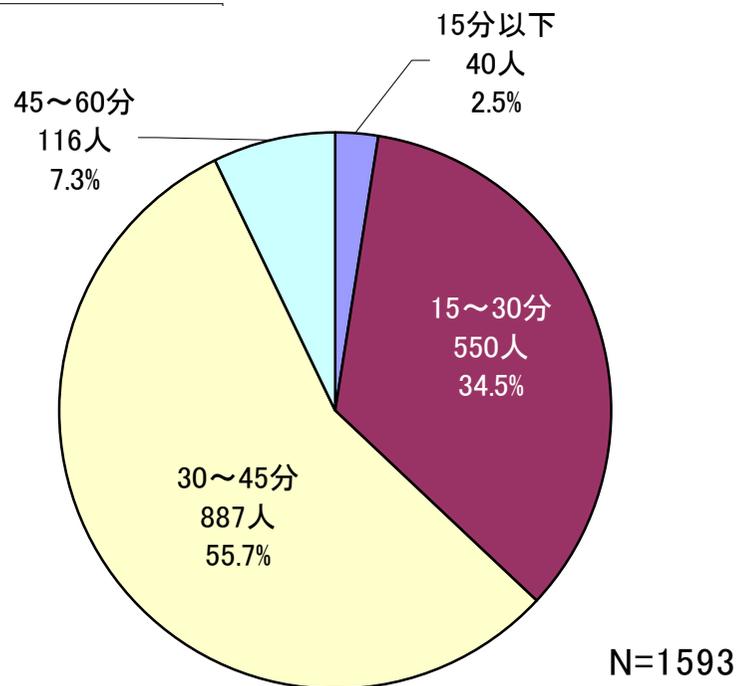
勤務場所



N=1613

休憩時間(日勤時)

平均休憩時間
37.9分

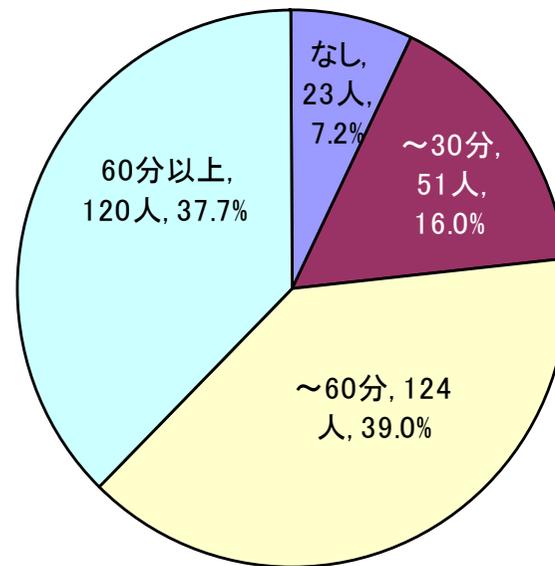


勤務形態 * 平均休憩時間

	総計		日勤のみ		2交替		3交替		その他	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
15分以下	40	(2.5%)	16	(3.6%)	1	(0.3%)	23	(2.8%)		
15~30分	550	(34.5%)	131	(29.6%)	73	(23.0%)	346	(41.7%)	1	(25.0%)
30~45分	887	(55.7%)	262	(59.3%)	191	(60.3%)	432	(52.0%)	1	(25.0%)
45~60分	116	(7.3%)	33	(7.5%)	52	(16.4%)	29	(3.5%)	2	(50.0%)
合計	1593	(100%)	442	(100%)	317	(100%)	830	(100%)	4	(100%)

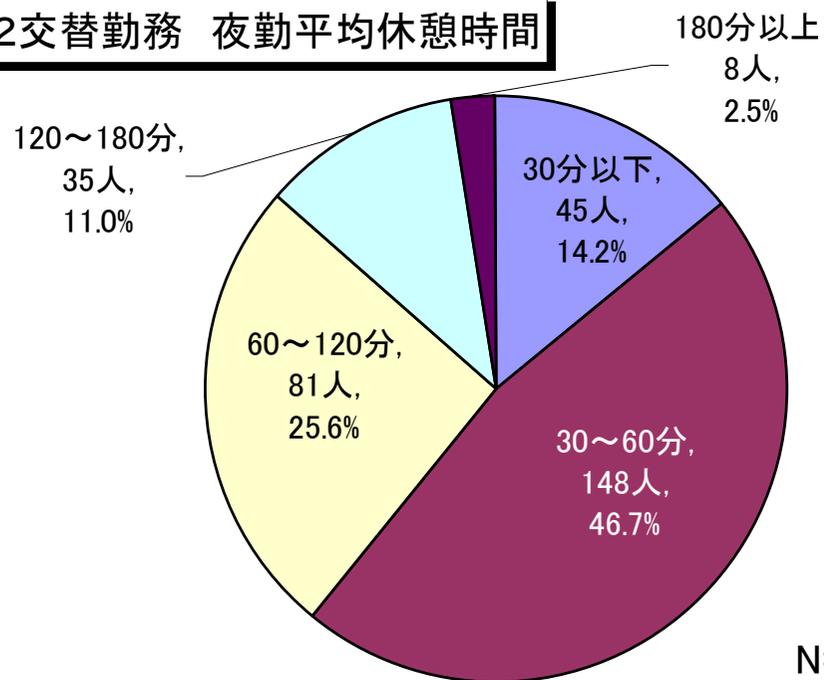
2交替勤務者の休憩(夜勤時)

2交替勤務 夜勤平均仮眠時間



N=318

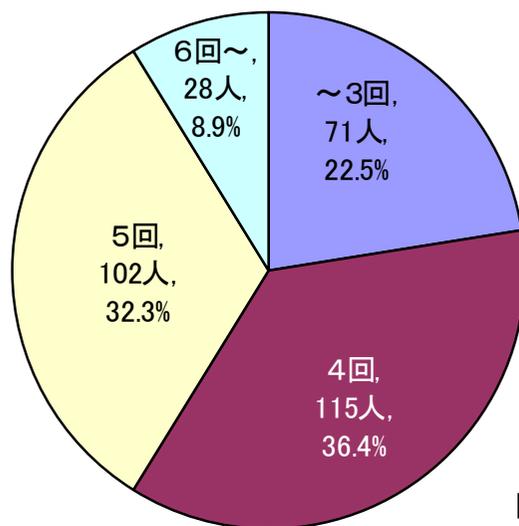
2交替勤務 夜勤平均休憩時間



N=317

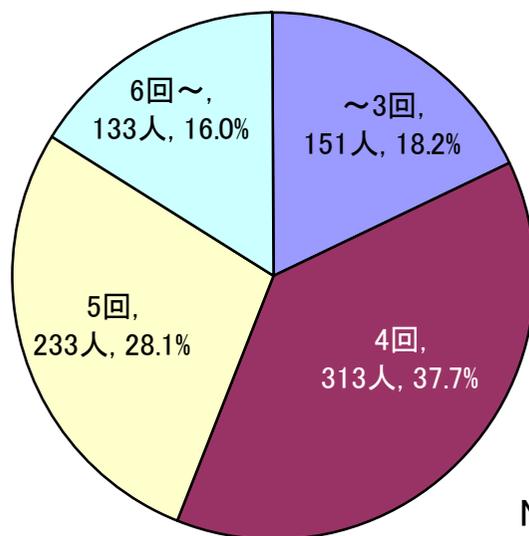
夜勤回数

2交替勤務 夜勤回数



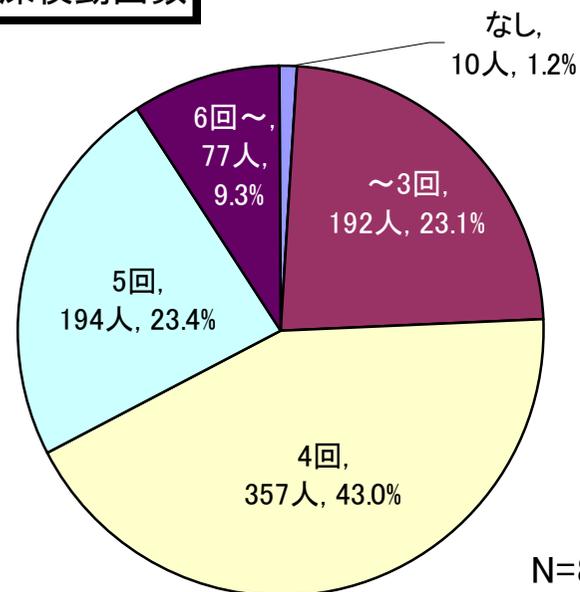
N=316

3交替勤務 準夜勤回数



N=830

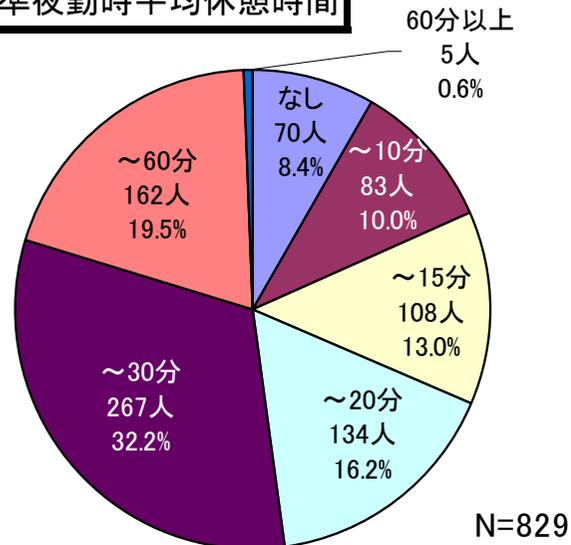
3交替勤務 深夜勤回数



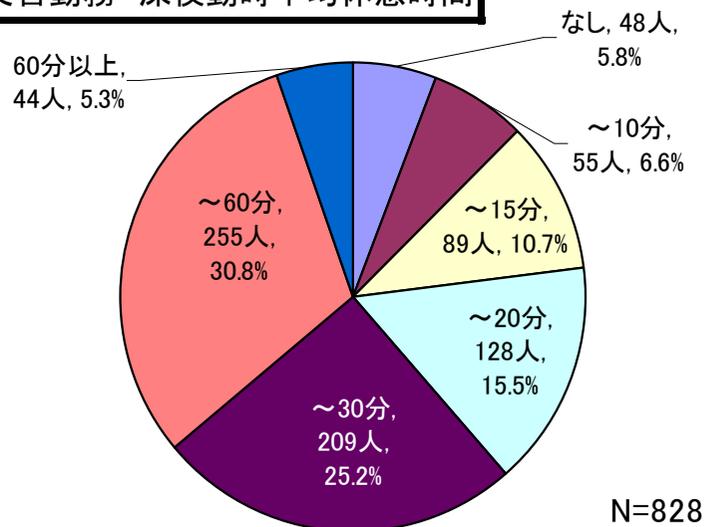
N=830

3交替勤務者の休憩(夜勤時)

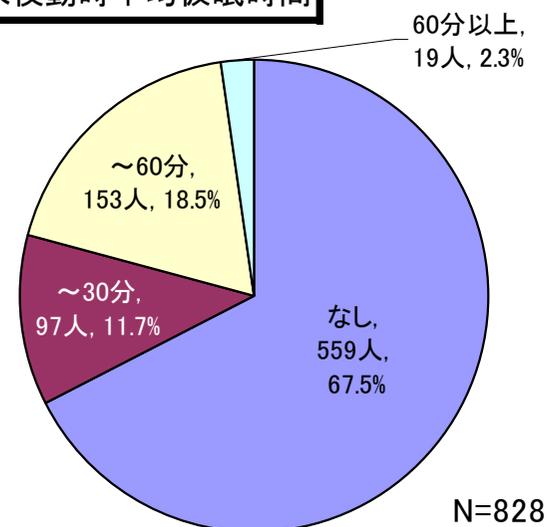
3交替勤務 準夜勤時平均休憩時間



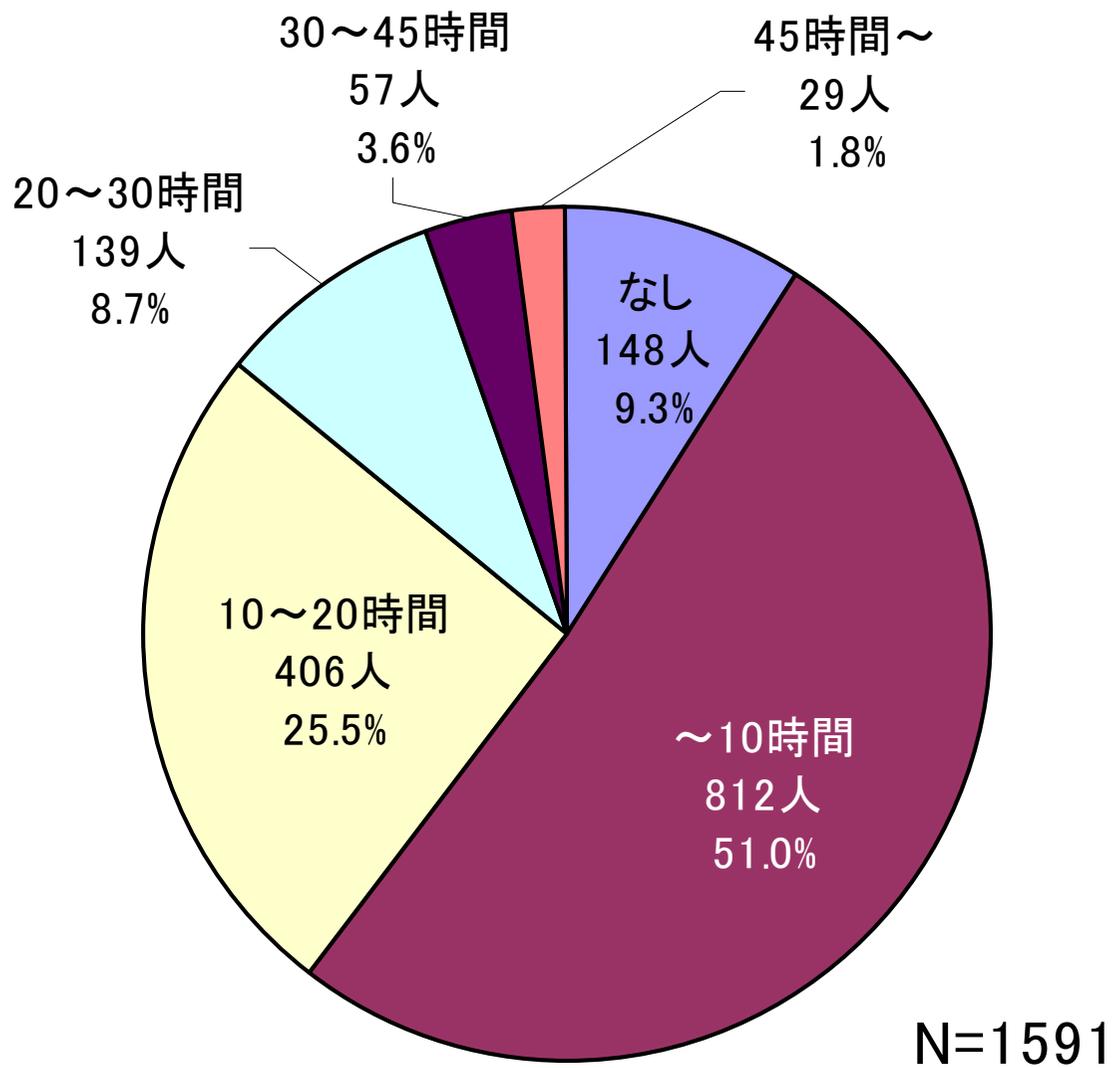
3交替勤務 深夜勤時平均休憩時間



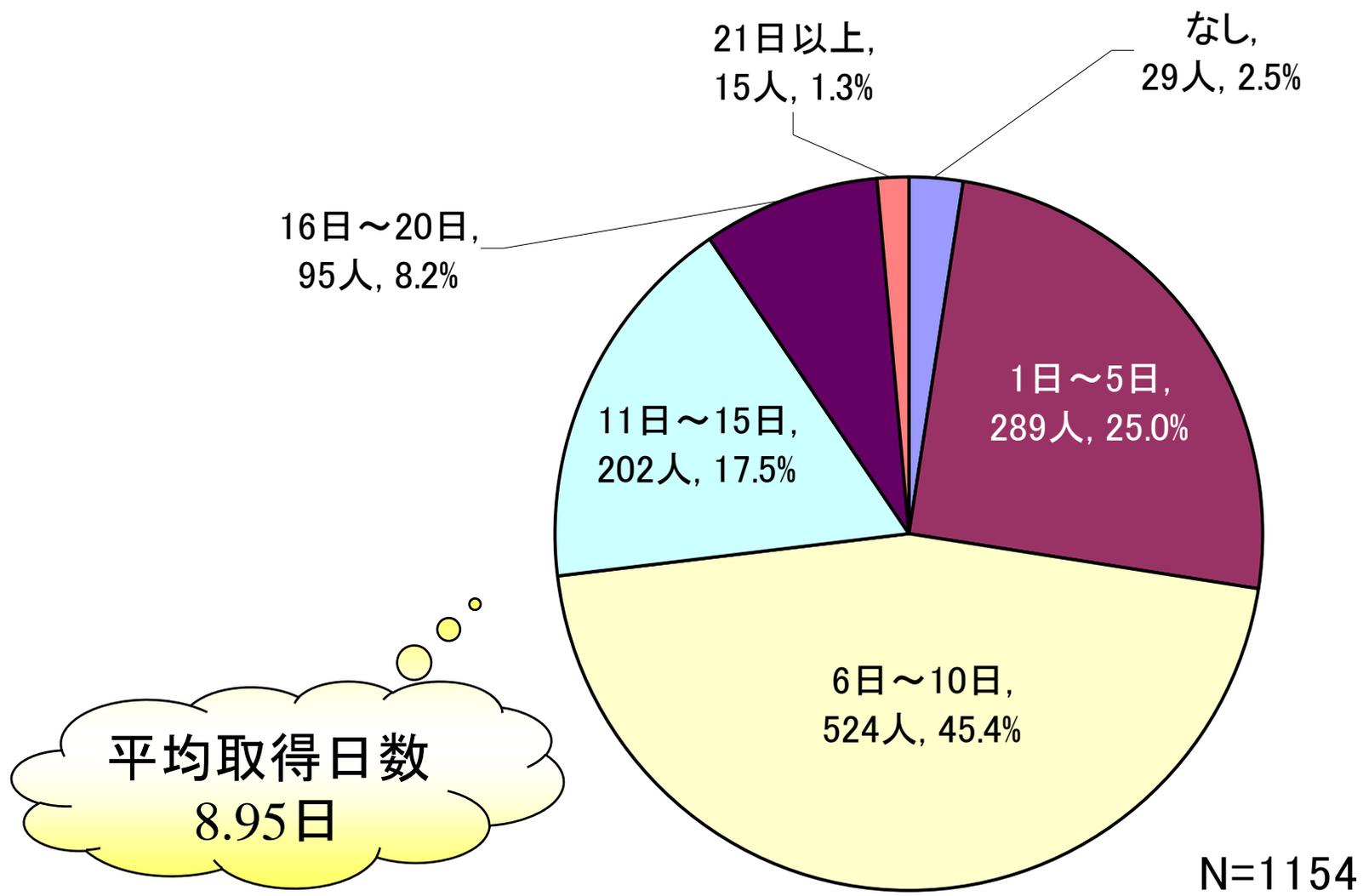
3交替勤務 深夜勤時平均仮眠時間



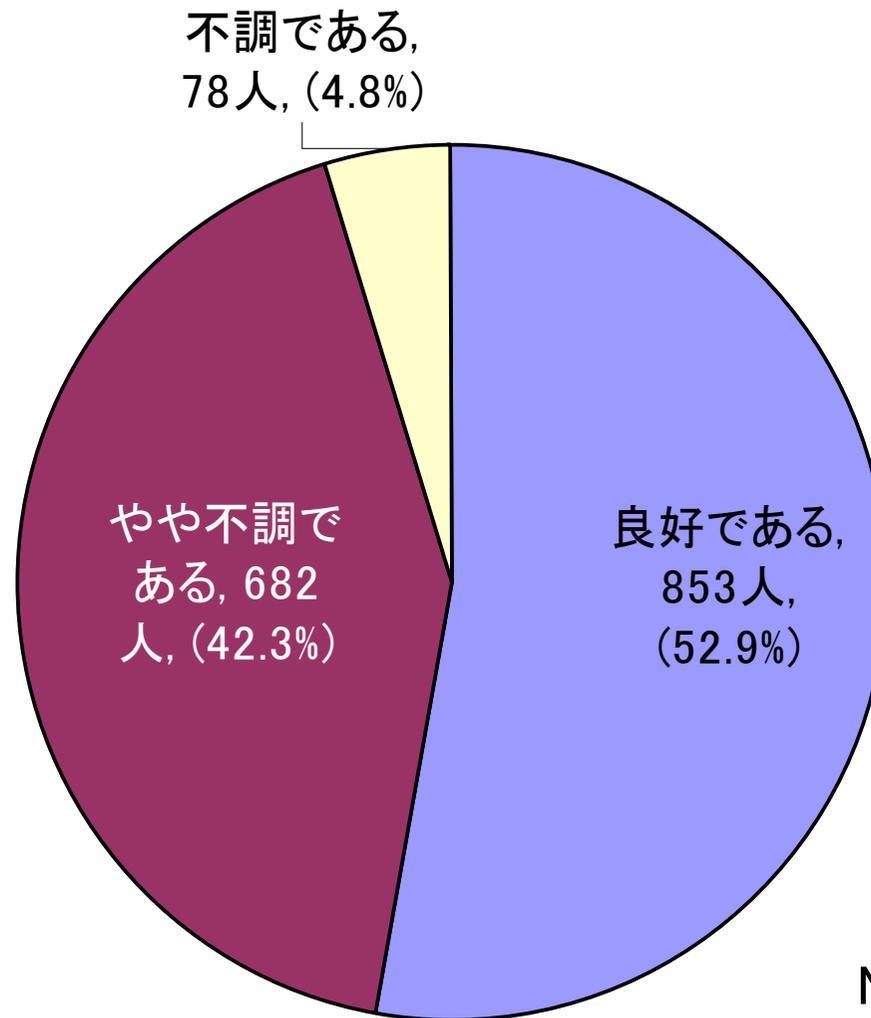
時間外労働



年次有給休暇の取得

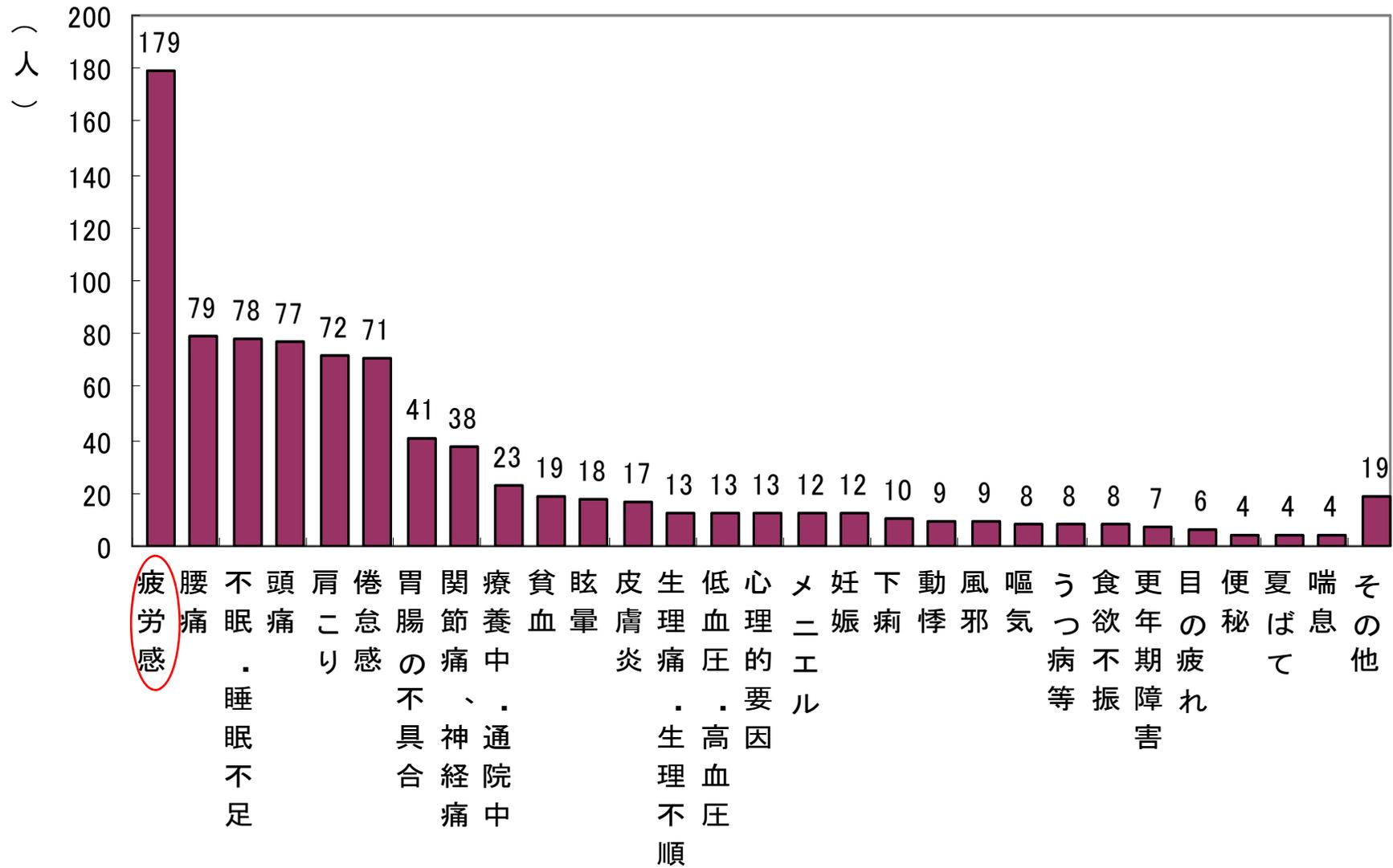


Q あなたの健康状況はどうか？

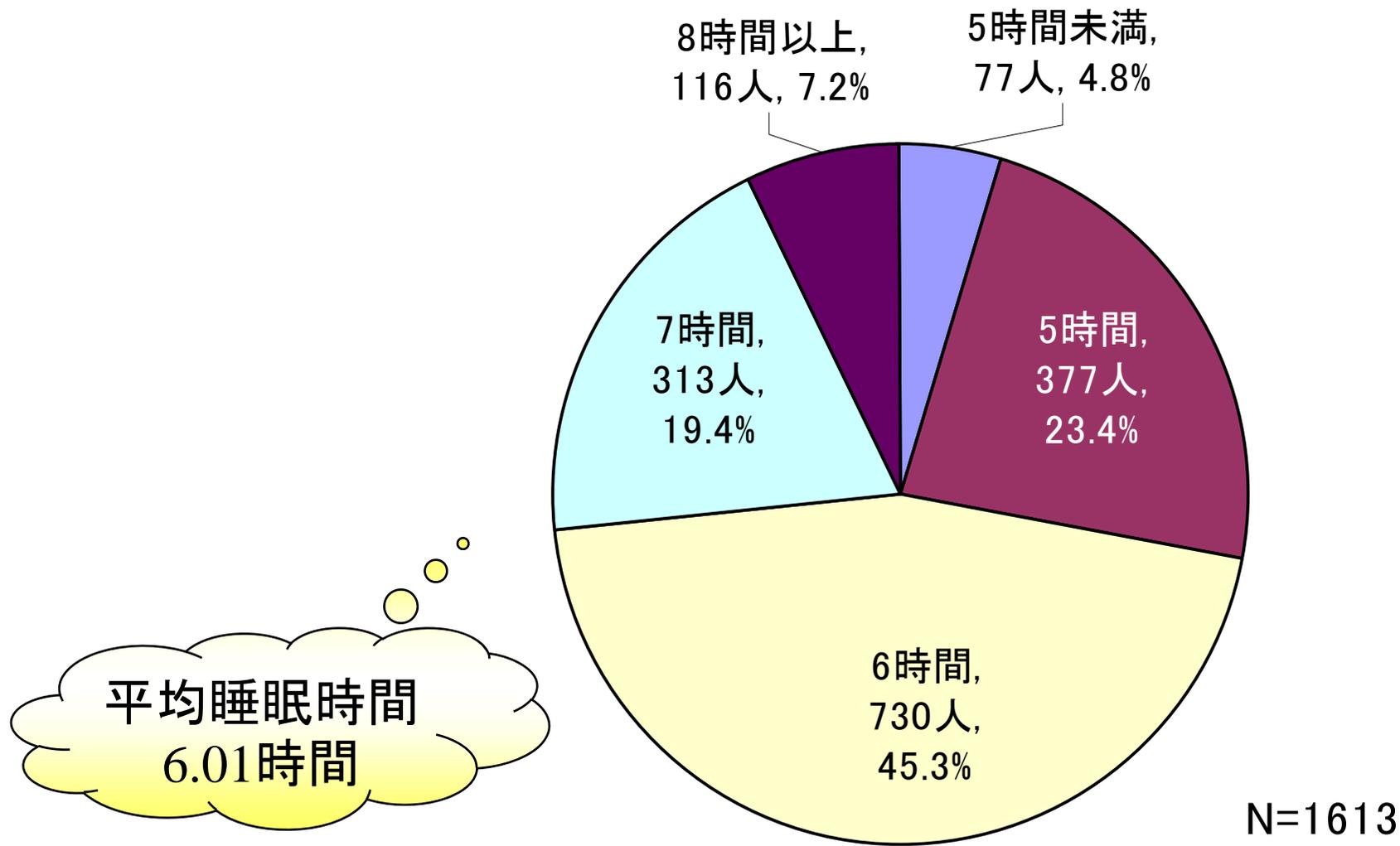


N=1613

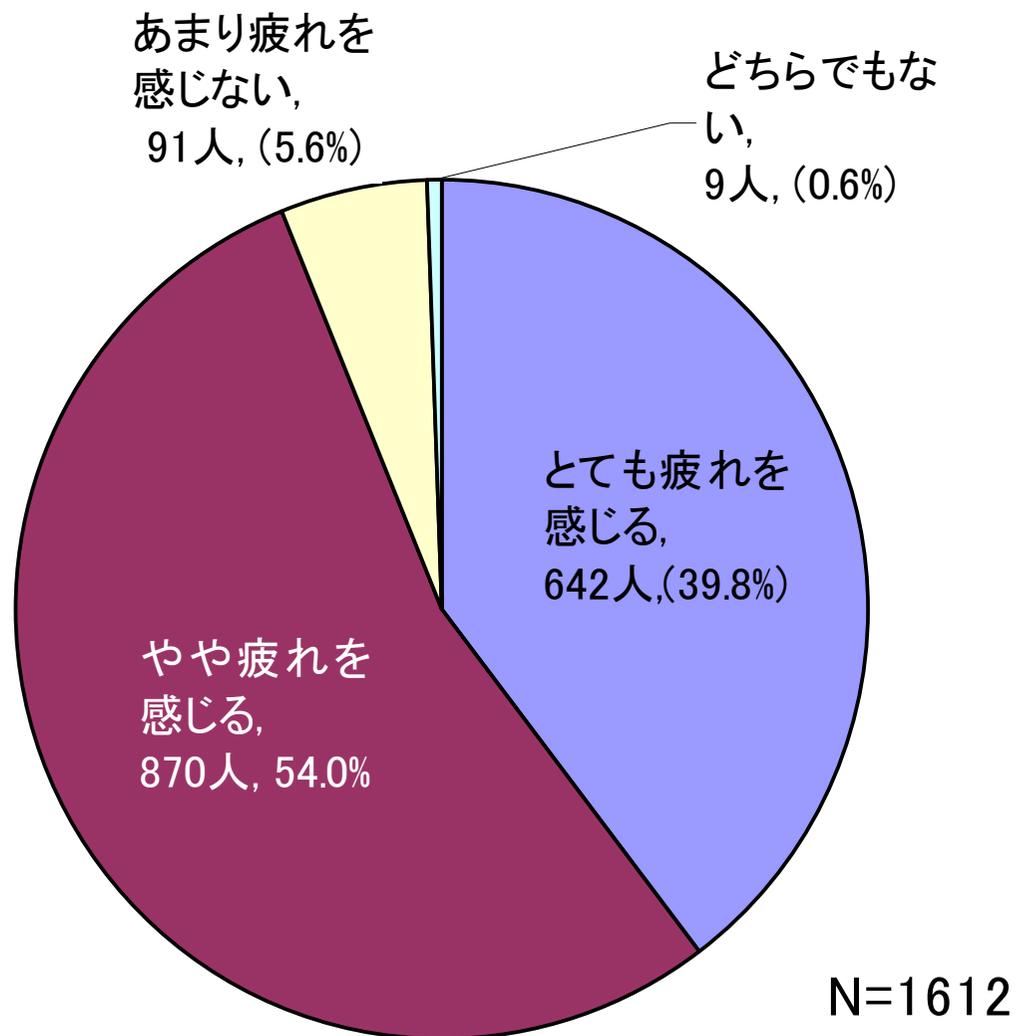
不調である具体的理由



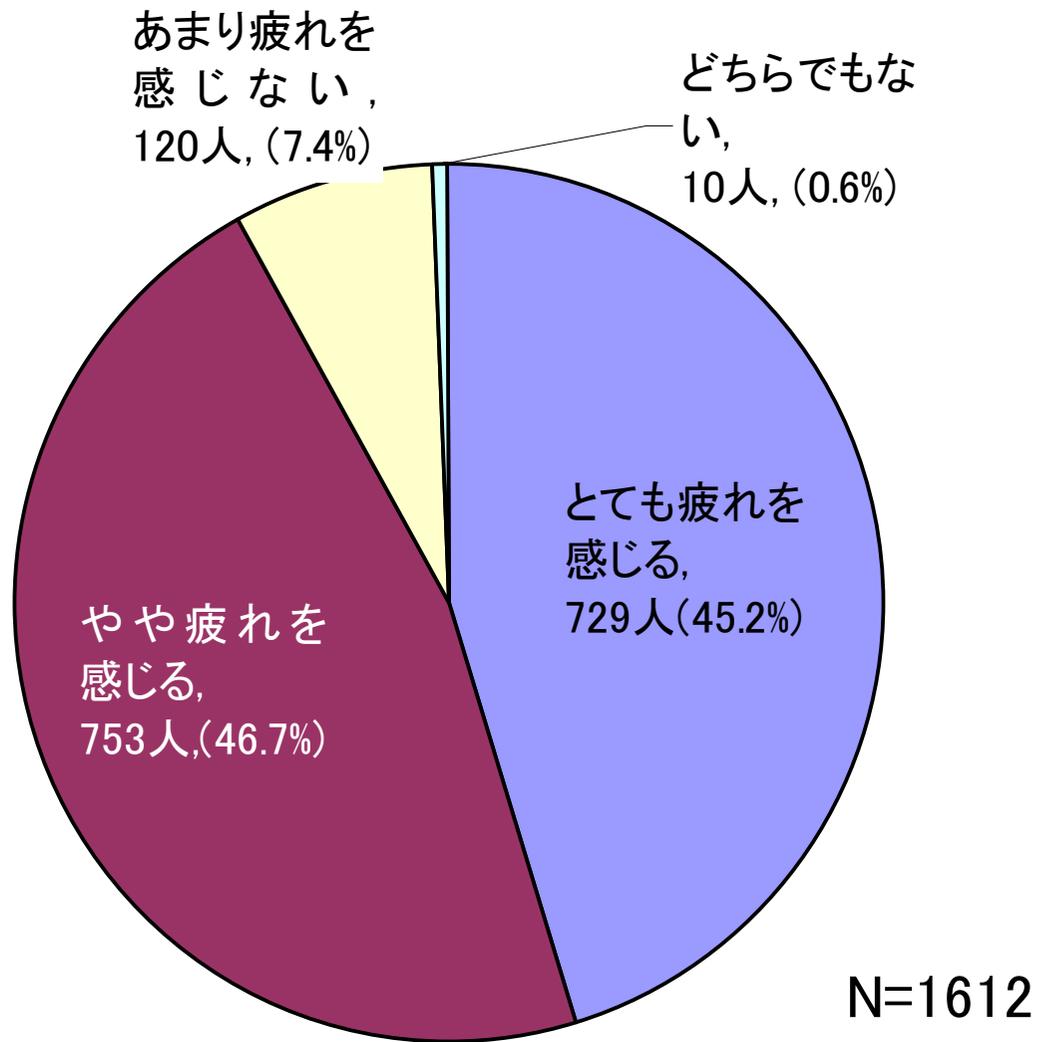
Q 最近のあなたの睡眠時間はどれくらいですか？



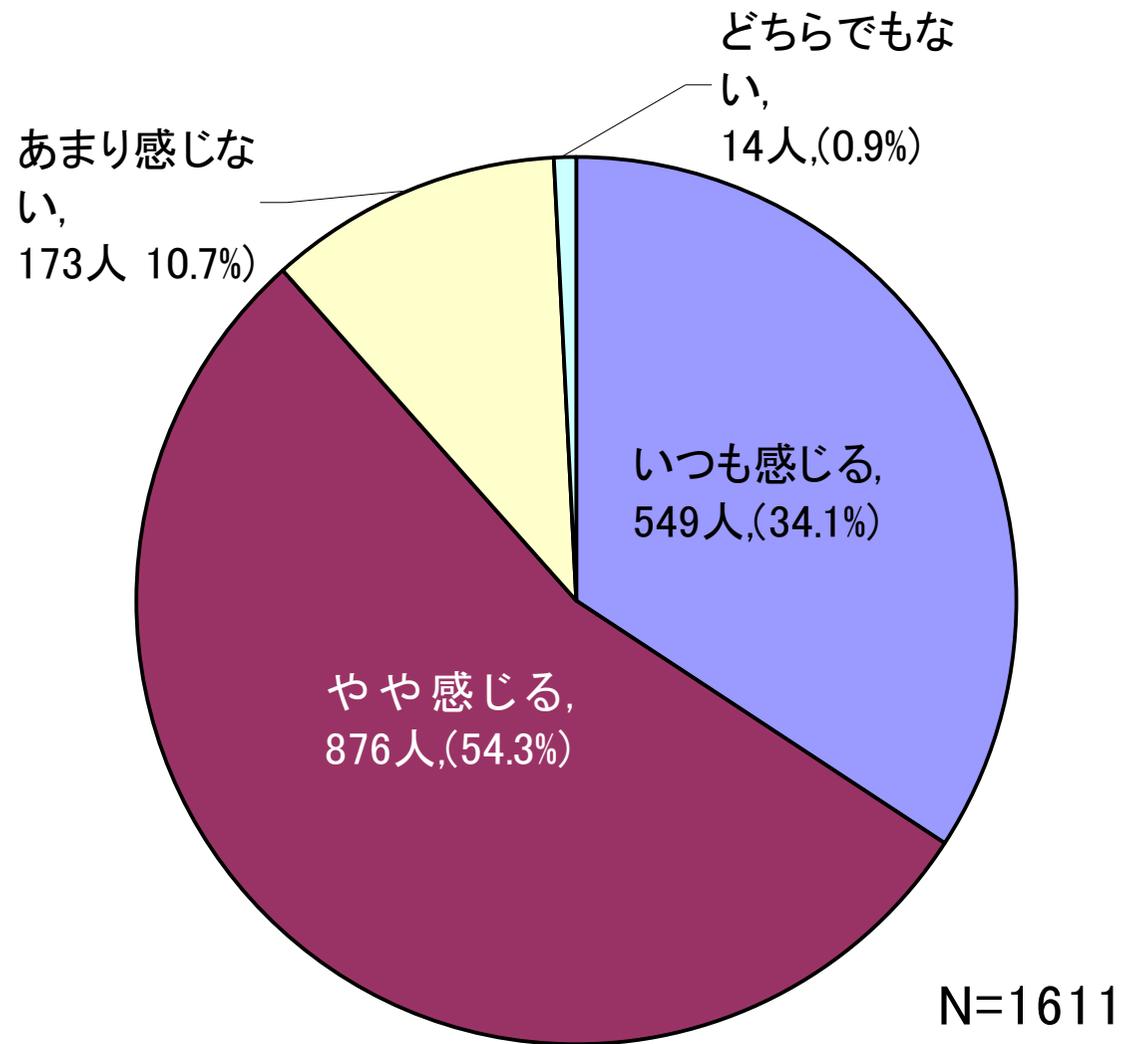
Q あなたは、仕事で身体的疲労を感じますか？



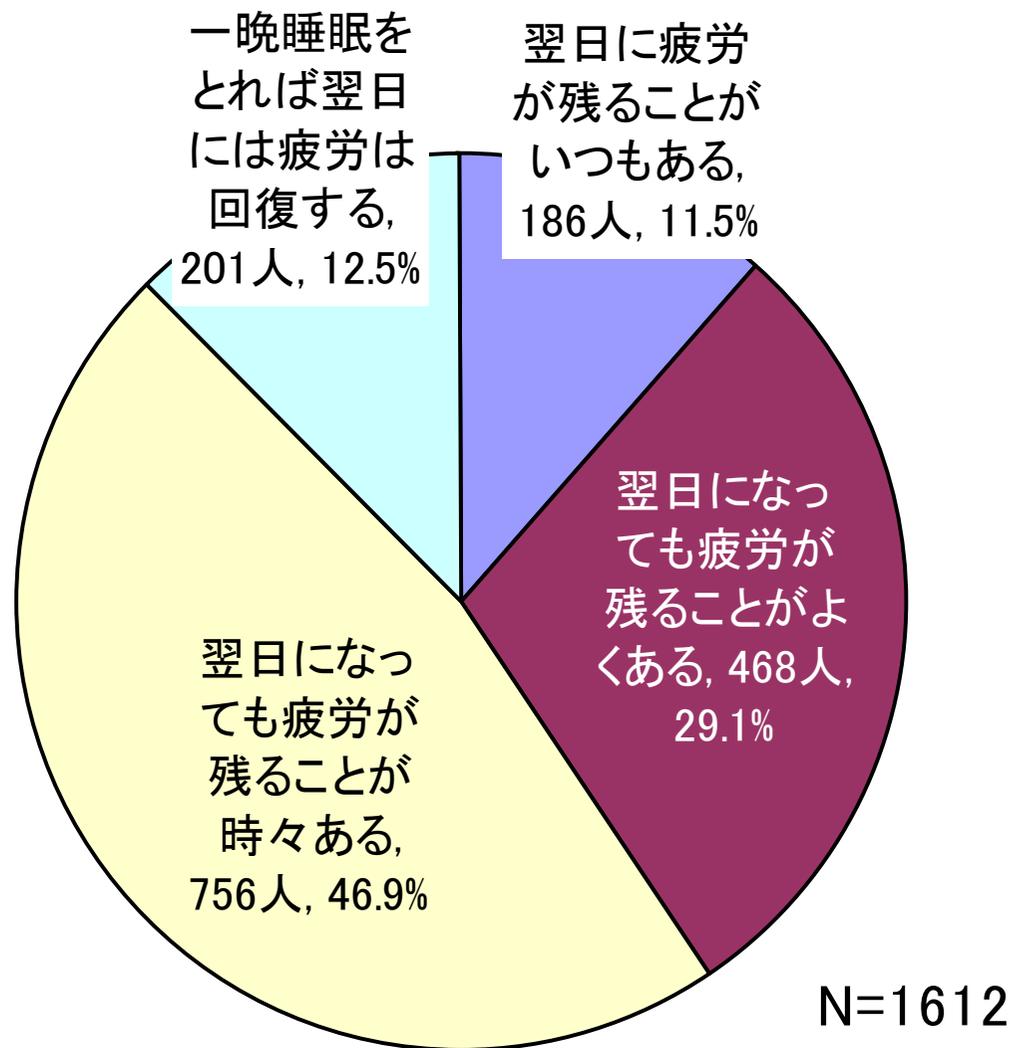
Q あなたは、仕事で精神的疲労を感じますか？



Q あなたは、仕事で強い不安、悩み、ストレスを感じることはありますか？



Q あなたは仕事で疲労を感じた時、回復の状況はどれにあたりますか？



ストレス簡易調査票を用いたストレスプロフィール

鳥取県看護職全体

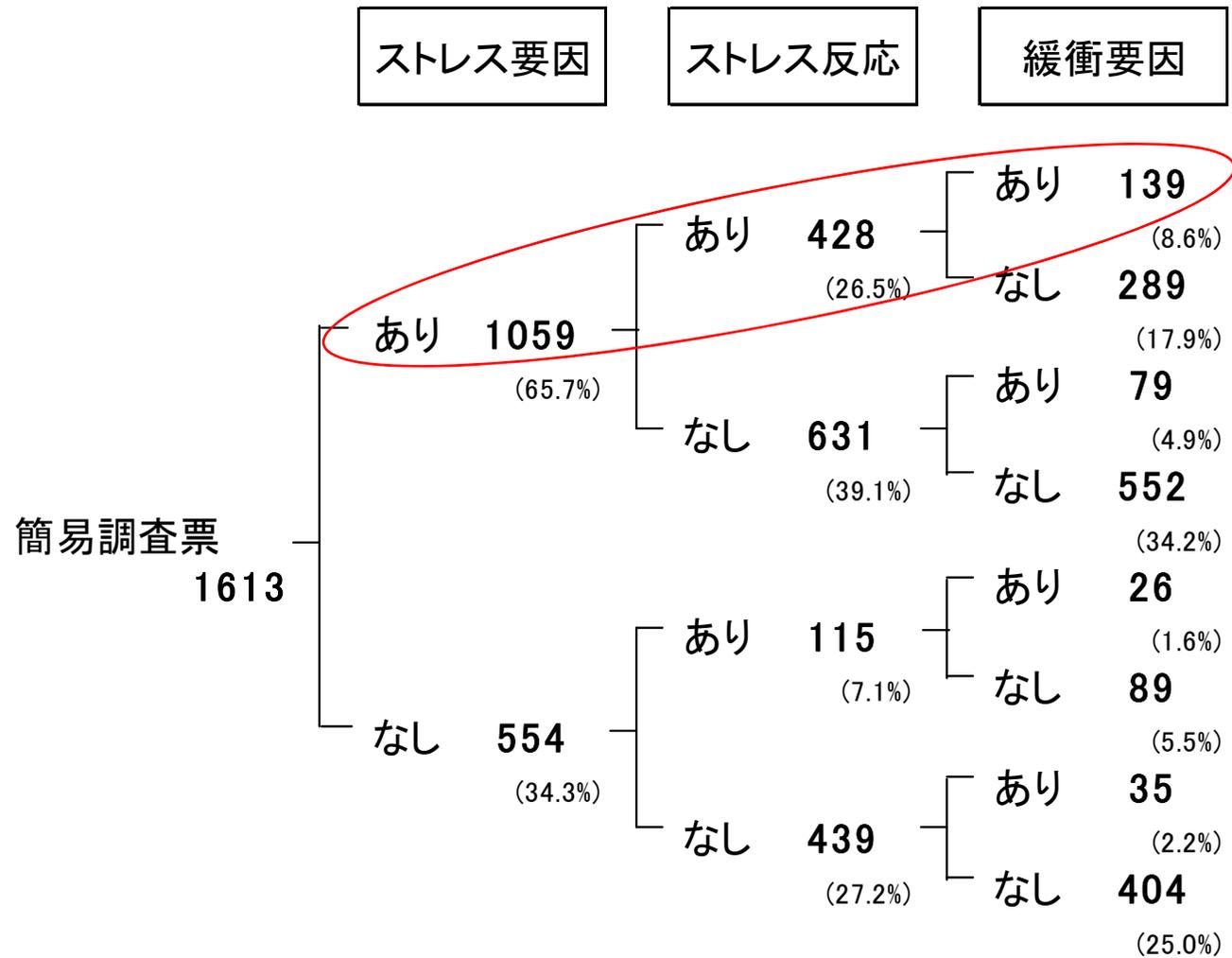
1613 人

項目 ストレスの原因と考えられる因子	判定結果		ストレス度が高い ← → ストレス度が低い					合計
	平均±SD		1	2	3	4	5	
自覚的な仕事の負担(量)	2.4	± 0.85	243	518	748	87	15	1611
自覚的な仕事の負担(質)	1.8	± 0.83	694	617	251	40	9	1611
自覚的な身体的負担度	1.8	± 0.81	610	706	236	59	0	1611
職場の対人関係上のストレス	3.1	± 0.89	60	306	769	395	80	1610
職場環境によるストレス	2.8	± 1.17	194	501	655	15	245	1610
仕事の裁量度	3.0	± 0.76	60	259	999	254	42	1614
技能の活用度	3.0	± 0.70	41	274	977	318	0	1610
自覚的な仕事の適性度	2.8	± 0.94	90	440	915	0	165	1610
働きがい	3.2	± 1.11	67	243	919	0	381	1610
合計			2059	3864	6469	1168	937	14497
			14.20%	26.65%	44.62%	8.06%	6.46%	
ストレスによっておこる心身の反応	平均±SD		1	2	3	4	5	合計
活気	2.7	± 1.06	303	300	700	254	53	1610
イライラ	3.0	± 0.93	79	320	840	255	116	1610
疲労感	2.6	± 0.89	173	536	698	172	32	1611
不安感	2.8	± 0.97	143	456	747	163	101	1610
抑うつ感	2.9	± 1.08	133	415	658	240	162	1608
身体愁訴	3.1	± 1.07	117	315	638	368	170	1608
合計			948	2342	4281	1452	634	9657
			9.82%	24.25%	44.33%	15.04%	6.57%	
ストレス反応に影響を与える他の因子	平均±SD		1	2	3	4	5	合計
上司からの支援度	3.3	± 0.91	47	193	653	595	119	1607
同僚からの支援度	3.0	± 1.01	73	441	682	265	145	1606
家族や友人からの支援度	3.6	± 1.28	115	227	372	382	510	1606
仕事や生活の満足度	2.9	± 0.86	109	253	976	199	71	1608
合計			344	1114	2683	1441	845	6427
			5.35%	17.33%	41.75%	22.42%	13.15%	
総合計			3351	7320	13433	4061	2416	30581
			10.96%	23.94%	43.93%	13.28%	7.90%	

ストレス要因を中心にストレス反応と緩衝要因を分類

(「判定1」に1つ以上の場合を「あり」とする)

鳥取県看護職全体



勤務条件からみた特性別平均愁訴率

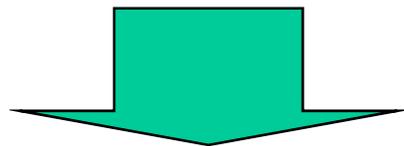
	n	健康状況					心身のストレス反応					
		健康状態 (不調である)	身体疲労 (とても感じる)	精神疲労 (とても感じる)	不安・悩み。 ストレス (いつも感じる)	疲労回復 (翌日に疲労が いつも残る)	活気 (低い)	イライラ感 (高い)	疲労感 (高い)	不安感 (高い)	抑うつ感 (高い)	身体愁訴 (高い)
外来	151	6.7%	26.0%	40.7%	35.3%	12.0%	20.5%	7.3%	7.9%	4.6%	8.6%	9.9%
内科系病棟	364	5.2%	51.6%	49.2%	39.0%	13.8%	22.8%	6.0%	16.8%	11.3%	10.4%	8.2%
外科系病棟	389	4.1%	42.2%	39.6%	29.8%	11.3%	17.5%	4.6%	11.8%	10.3%	8.2%	7.7%
その他病棟	325	5.2%	42.5%	46.5%	31.4%	13.2%	15.7%	2.8%	7.1%	7.7%	6.8%	6.5%
手術室	113	2.7%	36.3%	47.8%	32.7%	14.2%	15.9%	5.3%	9.7%	7.1%	8.8%	6.2%
ICU・救急	226	4.0%	26.1%	46.9%	36.7%	14.6%	18.1%	5.3%	8.0%	9.7%	6.2%	4.9%
日勤	448	5.3%	32.0%	45.9%	37.8%	12.7%	19.6%	4.2%	8.3%	7.8%	8.5%	7.4%
2交替勤務	318	4.1%	37.0%	36.1%	25.7%	10.0%	17.3%	4.4%	7.2%	6.0%	7.2%	6.3%
3交替勤務	833	4.9%	44.8%	48.2%	35.0%	11.8%	19.1%	5.3%	13.3%	10.6%	8.6%	7.6%

まとめ

- 回収率は84.8%と、対象者の参加意識は高い。
- 健康状況について、47.1%は「不調・やや不調」と答えている。
- 不調である具体的理由は、「疲労感」が最も多く、次いで「腰痛」「肩こり」など疲労に伴なう身体愁訴をあげる回答が上位を占めた。
- 睡眠時間がやや不足している状況が伺えた。
- 身体的疲労感・精神的疲労感・職業性ストレスについて、9割近くが自覚している。
- 仕事で疲労を感じた時の回復状況について、87.5%が翌日にずれ込むと答えている。
- 職業性ストレス調査結果から、「仕事の負担(量・質)」、「身体的負担」がストレス要因として高く、心身の反応では「疲労感」が高い状況にあった。

調査結果の考察

- ・ 総合病院に勤務する看護師の心身にかかる負荷の大きさを再認識できた。
- ・ 対象者の「身体的疲労感」・「精神的疲労感」・「疲労回復状況」は、とくに内科系病棟・3交替勤務において他の群よりも高い値を示した。
- ・ 職業性ストレス調査結果からも、「仕事の負担」と「疲労感」との関連がみられた。



- ・ 健康管理について、看護師自身が考えていくとともに、病院組織全体として、適切な労務管理、快適職場環境づくりが不可欠である。 ⇒ **優れた看護サービスの提供**
- ・ 業務以外の要因も考慮した、今後の追跡調査の検討も必要。

今後の取組み

◎ 総合病院産業保健関係者に対する啓発

- 「心の健康の保持増進指針」の周知
- 安全衛生管理体制構築への助言

◎ 産業保健サービスの積極的提供

- 産業保健関連の情報提供
- 専門家の派遣、コンサルテーション
- 研修会の開催